

## ◆モデル地区における検討内容

モデル地区における検討は、以下に示すフローに従い、各項目ごとにシートとして整理している。

《**地区の概要**》では、景観や環境を検討する上で重要な地区全体の特性（地形、景観、環境等）について、被災前後の状況等を踏まえて図面等で視覚的に整理している。

《**周辺環境特性**》では、検討対象施設を示した上で、その周辺における景観および環境具体的な特性を整理している。

《**検討条件**》では、与条件として、まちづくり計画（土地利用方針）および、構造条件として構造物の位置、設堤高さ、基本構造等を整理している。

《**景観配慮のポイント**》では、上記の内容を踏まえ、景観を検討するための視点場を設定するとともに、景観形成上、特に配慮すべき内容を整理している。

《**環境配慮のポイント**》では、上記の内容を踏まえ、環境を検討する上で特に配慮すべき内容を整理している。

《**施設整備後の見え方の比較**》では、検討にあつて各視点場からの見え方を、イメージパースやフォトモンタージュで整理している。

《**具体的な環境・景観配慮の例**》では、現計画におけるイメージパースやフォトモンタージュに配慮事項を吹き出しで示すとともに、それらの特徴・評価を5つの視点から記述している。また、それら配慮事項の対策を実施した場合のイメージパースやフォトモンタージュ、また具体的な留意点、対応方法等を示し、設計・施工に反映するための基礎資料として整理している。

